

インマヌエル中目黒キリスト教会

2009年1月25日

聖日礼拝

教会総会に臨んで

「御霊によって前進」

ガラテヤ人への手紙 5章16節 - 26節

竿代 照夫 牧師

聖書朗読

新約聖書

ガラテヤ人への手紙 5章16節-26節

16 私は言います。

御霊によって歩みなさい。

そうすれば、

決して肉の欲望を

満足させるようなことは

ありません。

17 なぜなら、

肉の願うことは御霊に逆らい、
御霊は肉に逆らうからです。
この二つは互いに対立していて、
そのためあなたがたは、
自分のしたいと思うことを
することができないのです。

18 しかし、

御霊によって導かれるなら、
あなたがたは律法の下には
いません。

19 肉の行ないは明白であって、

次のようなものです。
不品行、汚れ、好色、

20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、
そねみ、憤り、党派心、
分裂、分派、

21 ねたみ、醜妬、遊興、
そういった類のものです。
前にもあらかじめ言ったように、
私は今もあなたがたに
あらかじめ言っておきます。
こんなことをしている者たちが
神の国を相続することは
ありません。

22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、
平安、寛容、親切、善意、誠実、

23 柔和、自制です。

このようなものを禁ずる律法は
ありません。

24 キリスト・イエスにつく者は、
自分の肉を、
さまざまの情欲や欲望とともに、
十字架につけてしまったのです。

25 もし私たちが御霊によって
生きるのなら、
御霊に導かれて、
進もうではありませんか。

26 互いにいどみ合ったり、
そねみ合ったりして、
虚栄に走ることのないように
しましょう。

説教

教会総会に臨んで

「御霊によって前進」

ガラテヤ人への手紙 **5章16節—26節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「もし私たちが
御霊によって生きるのなら、
御霊に導かれて、
進もうではありませんか。」

(ガラテヤ5:25)

「聖霊によって歩む」

1. 聖霊によって歩まないとは？

→律法主義におちいる(1、18節)、

あるいは

→罪の生活に戻る(16、13節)

- ・両方とも、神を離れた人間性(肉)に根ざしている

2. 聖霊によって歩むには？

- 聖霊によって生まれる(25節)
- 罪性を十字架につける
(24節、ローマ6:11)

3. 聖霊によって歩むとは？

→個人的には、
聖霊の感化と方向に沿って
歩むこと

- 御霊に聞く
(御言のを学びと思い巡らし、
他人の忠告、良心の声・・・)
- 御霊の力にすがる
- 御霊と物語る
- 御霊の導きを仰ぐ

4. 御霊によって進むとは？

→ 共同体としては、
隊列を作って進む

・ 互いの歩調に合わせよう

< **25節**の「進む」

(ストイホーメン)

= 「軍隊のように列を作って
行進する」 >

- 互いに尊敬しよう(26節)
- 互いに愛を持って警告しよう
(6:1)。
- 互いの重荷を負おう(6:2)
- “Let us”のスピリット

5. 聖霊によって歩むと？

→ 「御霊の実」を結ぶ

- ①憎しみをでなくて愛
- ②悲しみをでなくて喜び
- ③思い煩いでなくて平安
- ④短気でなくて忍耐
- ⑤意地悪でなくて親切
- ⑥邪悪でなくて善良
- ⑦疑いでなくて誠実
- ⑧暴虐でなくて柔和
- ⑨でたらめでなくて節制

終わりに：

「御霊の実」が豊かに結ばれる
一年であるように！